関西現代音楽交流協会（ＫＭＭＡ）

第４６回現代音楽作品の夕べ

2013 年 10 月 26 日（土）16:30　開演（16:00 開場）トントレフ・ヒコ

主催：関西現代音楽交流協会(KMMA)

後援：大阪音楽大学　大阪音楽大学同窓会≪幸楽会≫　大阪成蹊大学　大阪成蹊短期大学
京都教育大学音楽科　日本女性作曲家連盟　神戸学院大学　武庫川女子大学音楽学部
日本現代音楽協会　協力：トントレフ・ヒコ

ご挨拶

本日は“第46回現代音楽作品の夕べ”にお運び頂きましてありがとうございます。

関西現代音楽交流協会は1986年に設立され、これまで毎年２回春・秋に演奏会を開催して参りました。これまでの27年間の活動は必ずしも常に順調であったというわけではありません。2001年からの４年間は、出演希望者が少ないため演奏会を開催することができず、2005年には会員数が31名にまで減少していました。その後組織を改編し運営方法を簡明にしたことなどにより、漸次会員が増え、作曲会員は45、演奏会員は44名（2013年9月現在）となりました。また今年度から演奏会の開催を年３回とすることになり（次回は2014年２月８日を予定）さらに活発な発表活動をする機会を増やしました。

今回の演奏会では12名の演奏家によって、８名の作曲会員の作品、そして現代の名曲が演奏されます。いずれの作品・演奏も会員各々の音楽的世界を表現するとともに、多くの方が喜んで聴いてくださることを目指しています。終演予定は19：00となっており、一回の演奏会にしてはやや長時間になってしまうことが気掛かりです。それでも最後まで皆さま方に楽しんで頂けることを、出品・出演者一同心から願っております。

私たちの協会では創作・演奏活動が、今後ますます充実したものになるよう、全ての会員がそれぞれの立場でより一層の努力をする所存でおります。これからも皆さま方のご支援とご協力の程よろしくお願い致します。

最後になりましたが、本日の演奏会にお越し頂きました皆さま方の益々のご健勝とご活躍をお祈りしております。

関西現代音楽交流協会委員長
大澤 弘之

プログラム

久保　英子　作曲
　７つの前奏曲
　　ピアノ：園田文子
大澤　弘之　作曲
「わが形見」(詩:水沢遙子)
「じゅもん」(詩:柿本香苗)
和泉　耕二　作曲
「せみ」(詩:村瀬保子)
「あなたのほほえみは」(詩:野呂 昶)
　　ソプラノ：片山賀子　ピアノ：園田文子
岡田　正昭　作曲
　Prominence for pianoforte
　　ピアノ：堀田 久美
三善 有希乃　作曲
　One　Heart　Music
　　ピアノ：三善有希乃　ギター：西里博喜　打楽器：石原雄治

＝休憩＝

内藤　正彦　作曲
サウダージ第２番
　　ピアノ：村上優
福島　和夫　作曲
　「《中有》よりの三つの小品」（編成：フルート＆ピアノ）
ベラフロンテ　作曲
　ピッコロとピアノのための The Crazy Acrobat(編成:ピッコロ&ピアノ)
　　フルート・ピッコロ：山村有佳里　ピアノ：小笠原真也
宇野　文夫　作曲
　ピアノ・ソナタ第４番「耳と目で」(改訂初演)
　　ピアノ：中村和枝
中澤　道子　作曲
　Basso ～コントラバスとピアノの為に～
　　コントラバス：三井修平　ピアノ：園田文子

演奏会終了後、今年度の関西現代音楽交流協会賞の発表とその授賞式、その後小レセプションがございます

作曲：久保　英子　KUBO Eiko
　７つの前奏曲

(作品解説)
曲は７楽章からできていて、それぞれ違う性格になるよう意識して作りました。
小さな子供やペットたちが、大人が見ている中、いたずらをして叱られるところから始まります。その後どういうシーンが続くか、想像してみて下さい。

＜作曲：久保 英子 (くぼ えいこ)＞
大阪音楽大学短期大学部作曲専攻卒業。東京にて作曲グループ、Le Phenix、のメンバーとして、又、その間、関西現代音楽交流協会でも作品発表。その後関西にて個展を開く。関西現代音楽交流協会会員。

＜ピアノ：園田 文子（そのだ ふみこ）＞
ドイツ国立フライブルグ音楽大学、大学院を最優秀賞受賞をもって修了。国際芸術連盟最優秀新人賞、ライオンズクラブ高槻基金受賞。Music Center N.Y 国際ピアノコンクールに入賞。カ―ネギ―ホ―ル、国際ダルムシュタット音楽祭セミナー、独・仏大使館後援現代音楽展への出演、びわこホ―ル、新潟市芸術文化会館での招聘演奏など幅広く活動中。渡邉康一郎、故ティボール・ハザイ、アンドレイ・ラツシンスキの各氏に師事。関西現代音楽交流協会演奏家会員。

作曲：大澤 弘之　OSAWA Hiroyuki
　「わが形見」
（作詞者より）
笠女郎が大伴家持に贈った形見は何だったのでしょうか。もう逢うことは叶わないがせめて形見の物を見て私を思い出してほしい。切ない願いを青いノートと樟のそよぎのイメージにより光のなかにかなしみがにじむようにあらわしてみました。（水沢遙子）
（作曲者より）
この詩は前々回の交流協会演奏会で発表した２つの歌曲と同じく、２年前に水沢さんより送っていただいたものです。何故かこの詩にはなかなか音楽を付すことができませんでした。水沢さんが書かれている「かなしみがにじむ」ように、そして透明感のある作品になることをイメージして書きました。（大澤弘之）

「じゅもん」
（作詞者より）
イミのない夢、不思議な夢をみることが時々あります。頭のなかを夢がぐるぐる回ります。じゅもんをとなえてぐっすり眠れますように…いい夢がみられますように。（柿本香苗）
（作曲者より）
このユニークな詩には、増音程を多く含んだアラビア風の不思議な音階がふさわしいように思いました。耳当たりの難解な音楽ではありませんが、転調が多いため正確に演奏することは少し苦労します。それでも楽しんで聴いていただければと願っています。（大澤弘之）

作曲：和泉　耕二　IZUMI Kouji

「せみ」
（作詞者より）
大寒をすぎても、我が家の庭にはあちらこちらに、せみのぬけがらがしっかりとしがみついています。夏の日の姿のままで。「なぜ　そんなにまで頑張るの」つい、私は声をかけ、はっと、ぬけがらの思いにふれた気がしました。飛び立っていったものは自分自身ですが、大切な子供と見ることも出来ます。せめて亡骸は自分の目の届く所にと。帰ってくる場所の標なのだと。一歩広く、人の情愛も重ねました。（村瀬保子）
（作曲者より）
蝉は、長い苦節のあと、時期が来ると、古い衣を捨てて今あるところから潔く飛び立ってゆく。幸福になれるかどうかなど顧みもせず、「お前にもそれができるか…？」と、ただ、覚悟を問いかけるかのように人の思いなどはるかに超えて。（和泉耕二）

「あなたのほほえみは」
（作詞者より）
その人がそこにいるだけで美しいけれど、そのほほえみは、さらに美しい。心はよろこびに包まれ清くとおとい気持ちに押し上げられる。恋情とはなんとすばらしいものであろう。（野呂昶）
（作曲者より）
恋は喜びと悲しみが裏表、でもそれは普通の恋。世の中にはそれと違った恋があることをこの詩は素敵におしえてくれる。（和泉耕二）

＜作曲：大澤 弘之 （おおさわ ひろゆき）＞
大阪音楽大学大学院作曲専攻修了。1989～90 国際交流基金によりフライブルク、2002～03 文部科学省在外研修員としてベルリン、ローマにて研修。ナショナル電子オルガン本部講師、華頂女子高校音楽科、大阪音楽大学附属音楽学園、立命館大学非常勤講師などを歴任。現在京都教育大学教授、大阪音楽大学非常勤講師。茨木文化振興財団理事。関西現代音楽交

流協会、茨木新作音楽展、21 世紀創作歌曲の会「まほろば」会員。

＜作曲：和泉 耕二（いずみ こうじ）＞
宮城県石巻市生まれ。現在、大阪音楽大学勤務。日本現代音楽協会、日本作曲家協議会、まほろば 21 世紀創作歌曲の会会員、オーケストラ・プロジェクト同人。〈主要作品〉1987 年マジシ・クネーネの詩に基づく「ウエニシェット・ジュスメーレ」　1993 年　独奏ピアノのための「３つのアフリカ」　1994 年　独奏尺八のための「狂竹」　1996 年　尺八と弦楽四重奏のための「異系の譜」2003 年〈芭蕉の俳句による「諷詠三趣」～ソプラノとピアノ のための〉

＜ソプラノ：片山 賀子（かたやま のりこ）＞
大阪教育大学卒業。尚美学園ディプロマコース修了。修了時に特別奨励賞を受賞。日本歌曲、ドイツ歌曲、フランス歌曲の演奏にて多くのコンサートに出演。オペラでは「コシ・ファン・トゥッテ」のデスピーナ、「メリー・ウィドウ」のシルビアーヌなどのコミカルな役を演じ好評を得た。現代音楽では「音楽の祭日 2011」「現代音楽作品の夕べ」等に出演。また、新作歌曲や音楽劇の初演でも活躍。その様子は FM・HI にて紹介された。関西現代音楽交流協会、EI の会各会員。静岡県焼津市出身。

＜ピアノ：園田 文子（そのだ ふみこ）＞
前掲

作曲：岡田 正昭　OKADA　Masaaki
Prominence for pianoforte

（作品解説）
プロミネンスは太陽の表面から噴出する紅炎を意味する。磁場の力でガスが持ち上がるのである。その大きさは地球の２０倍にも達し、やがて宇宙に飛び散り、地球にはオーロラを発生させる。ありあまるエネルギーがわれわれに神話を生み出し銀河世界との自己同一の認識を与える。大自然と一体である感動は音楽を通してもまた語りつがれる。

＜作曲：岡田 正昭 （おかだ まさあき）＞
大阪音楽大学大学院作曲科修了。「詩と音楽の会」「日本作曲家協議会」「東京国際芸術協会」等会員。音楽之友社より「岡田正昭歌曲集」他合唱曲など出版。TIAA全日本作曲家コンクール、牧野由多可賞、洗足現代音楽作曲コンクール入賞等。近年、室内オペラを発表。演奏、出版を続けている。

＜ピアノ：堀田 久美（ほりた くみ）＞
大阪信愛女学院高等学校、大阪音楽大学ピアノ専攻卒業。好川富子、石井典子、福島久仁子、八田惇の各氏に師事。在学中よりピアノ指導を始め、導入期からのピアノ指導法、演奏法の研究に継続的に取り組んでいる。大学卒業と同時に守口市少年少女合唱団ピアノ伴奏者を務め、これまでにカナダ・アメリカ・オーストラリア公演の他、東京ディズニーランド・中四国・九州地方にいたるまで、国内外の多数の演奏会に出演。演奏活動としては、合唱・声楽・フルートなどの伴奏のほか、ソロおよびピアノアンサンブルを行っている。現在、自宅教室にてピアノ指導、大阪市民交流センターピアノ講座講師、大阪市生涯学習ルームコーラスピアノ伴奏者、(社)全日本ピアノ指導者協会大阪支部事業企画委員、関西現代音楽交流協会役員。大阪成蹊短期大学非常勤講師。

作曲：三善 有希乃　MIYOSHI Yukino
One Heart Music

(作品解説)
この曲は、「おんがくねずみジェラルディン」という絵本よりインスパイアしました。ある一匹のねずみがチーズをかじると、楽器を奏でるねすみの姿になり、生まれて始めて音楽を聴く…という物語です。ねずみたちの楽しそうな様を、カホンで表し、展開部では、金と銀の糸の旋律を対位法的にギターとピアノで表しています。

＜作曲、ピアノ：三善 有希乃（みよし ゆきの）＞
神戸山手女子高等学校〈音楽科〉作曲専攻を経て、大阪音楽大学作曲学科卒業。作曲を、中西覚、門田展弥、田中邦彦の各氏に師事。出版楽譜：ひょうご日本歌曲の会より歌曲「歌っていけば」「舟歌」など他多数を「新しい日本の歌vol. 1～4」（マザーアース社）に収載。主な作品に「3つの絵画交響曲」forトランペット&打楽器&ピアノなど他多数。現在、新響楽器にてピアノ・エレクトーン・作曲を指導。YAMAHAJet講師。ひょうご日本歌曲の会・日本女性作曲家連盟・関西現代音楽交流協会各会員。

＜ギター：西里 博喜（にしざと ひろき）＞
キャットミュージックカレッジ音楽学校演奏学科卒業。ギターを松本泰士、住友俊洋、池田剛、古賀和憲の各氏に師事。関西のライブハウスやレストラン、バー等での演奏。サンバやボサノバ、サルサ等を演奏しコンサートをする。その後2008年バンドＬＡＴＩＤ’ＳＩＣ結成。鶴見ギャリー音楽祭グランプリ、浪速音楽祭オーディエンス票1位、ABC放送新社屋記念『中之島音楽特区』出演。金秀吉監督の映画『回帰線ＺＥＲＯ』の主題歌に楽曲が採用される。また様々な音楽教室で講師を務め現在は豊中、宝塚、心斎橋に展開しているLaid Back Music Schoolのギター科講師。関西現代音楽交流協会演奏家会員。

＜パーカッション：石原雄治（いしはら ゆうじ）＞
中学校の吹奏楽で打楽器を始め、高校でバンドでのライブハウスで演奏を始める。大学在学中に本格的にドラムを始めることを決意し、河瀬ドラムスクールで小川隆庸氏に師事。即興演奏ジャムバンド「feat. ツタンtheカーメンズ」を主催、即興演奏デュオ「寝屋川ジャム」を主催、ロックバンドRACHELにてインディーズデビュー。現在は東京に拠点を移し、あらゆるジャンルのバンドのサポートミュージシャンや、即興演奏家として活動中。関西現代音楽交流協会演奏家会員。

作曲：内藤 正彦 NAITO Masahiko
　サウダージ第２番

（作品解説）
サウダージ（Saudade、あるいはサウダーデとも）とは、郷愁、憧憬、思慕、切なさ、などの意味合いを持つ、ポルトガル語およびガリシア語の語彙。ポルトガル語、およびそれと極めて近い関係にあるガリシア語に独特の単語とされ、他の言語では一つの単語で言い表しづらい複雑なニュアンスを持つ。ポルトガル語が公用語となっているポルトガル、ブラジル、アンゴラなどの国々で、特に歌詞などに好んで使われている。単なる郷愁（nostalgie、ノスタルジー）でなく、温かい家庭や両親に守られ、無邪気に楽しい日々を過ごせた過去の自分への郷愁や、大人に成長した事でもう得られない懐かしい感情を意味する言葉と言われる。だが、それ以外にも、追い求めても叶わぬもの、いわゆる『憧れ』といったニュアンスも含んでおり、簡単に説明することはできない。（wikipedia より引用）
旋法に基づく旋律と、それから生まれる和声に、上記のようなニュアンスを汲み取って頂ければ幸いです。

＜作曲：内藤　正彦（ないとう　まさひこ）＞
大阪音楽大学短期大学部専攻科作曲専攻卒業。作曲を田中邦彦、景山伸夫、藤島昌壽氏に師事。平成二十二年度関西現代音楽交流協会作曲賞受賞。関西現代音楽交流協会会員。

＜ピアノ：村上優（むらかみ　ゆう）＞
大阪教育大学芸術専攻音楽コース卒業後、ハンガリー国立リスト音楽院に留学。第15回イタリアバルレッタ市国際コンクール第１位、併せて同市特別賞、アジア人最優秀としてムジカ・アジア特別賞受賞。これまでに、ハンガ リー国立交響楽団コンサートマスター、ハンガリーオペラ座交響楽団メンバーらと共演。インドネシアにてマスタークラス指導、室内楽フェスティバル出演。現在、ソロ、室内楽、伴奏ともに幅広い演奏活動の傍ら、コンクールの審査や後進の指導にあたる。畿央大学非常勤講師、京都音楽院講師。関西現代音楽交流協会会

員。

作曲：福島 和夫 FUKUSHIMA Kazuo
「《中有》よりの三つの小品」(編成:フルート＆ピアノ)

福島和夫(ふくしま かずお、1930年4月11日 -)は、日本の作曲家・音楽学者であり、独学で作曲を勉強した。その後、鈴木博義や武満徹らと知り合い、芸術家グループ「実験工房」に参加。東洋的な響きに近いフルートのための作品を多数発表、代表作の『冥』などが生まれる。また『エカーグラ』は1959年に来日したストラヴィンスキーによって武満徹の『弦楽のためのレクイエム』などと共に絶賛されたうちの1曲である。1970年代後半からは、日本や東洋の伝統音楽の研究に主な活動を移している。この＜中有＞より三つの小品」は1曲目、三曲目がフルートとピアノの作品であり、二曲目がフルート・ソロとして書かれている。
「中有とは、仏教用語で「死んでから次に生まれ変わるまでの間」と言う意味である。輪廻思想における「四有」の一つ。生と死のどちらでもない状態にいることから「中」有と呼ばれる。中陰とも言う。この期間は一念の間から7日あるいは不定ともいう。日本ではふつう49日間（四十九日）とされ、7日ごとに法要を行う。この間に死者は各所にある審判の門を巡り49日目に次の生が何処になるかが決められると言うー地獄へ落とされなければー

作曲：ラファエル・ベラフロンテ Raffaele Bellafronte
ピッコロとピアノのための The Crazy Acrobat(編成:ピッコロ＆ピアノ)

ラファエル・ベラフロンテ（Raffaele Bellafronte １９６１年―）は　イタリア人作曲家であり、音楽理論と作曲をF.Snifonia,G.P･Chiti、F･Delli Pizziに学ぶ。彼の芸術的な作品群は絵画を身にまとったモデルのようなものもあれば、また、時を超えて発見されたようなスタイルの融合的なものもある。各オーデイオを駆使して表現する作品もしばしばあるが、伝統的な奏法に基づいた作品も発表している。ピッコロとピアノのための The Crazy Acrobat(2004)は非常に特色のあるキャラクターで実現不可能に感じるこの作品であるが、メトリックな構造を使いながらポリリズミックなフーガが、対照的な二つの楽器を交替する様が表現されている。作品の始まりは執拗でいて興味をそそるまさにピッコロロとピアノによる「ゲーム」のような作品で正に「クレイジー・アクロバット」という作品になっている。尚この作品は２００９年山村有佳里によって日本初演された。

＜ピッコロ：山村 有佳里（やまむら ゆかり）＞
プラハ芸術アカデミー、マーストリヒト音楽大学大学院をフルートで修了。国家演奏家資格取得。英国ウェールズ王立音楽大学大学院ピッコロ科にて学ぶ。第１２回バコリ国際音楽コ

ンクール第一位受賞。第10回“エウテルペ”国際音楽コンクール（共にイタリア）でフルート、ピッコロにて第一位、併せてジャーナリスト賞受賞。サー・ジェームス・ゴールウェイの招待により、スイス・のコースにてピッコロ奏者Ｎ・マザンティに師事。

＜ピアノ：小笠原真也（おがさわら しんや）＞
蔵野音楽大学を首席で卒業。第56回読売新人演奏会出演。同大学院を経て、ドイツ国立・デトモルト北西ドイツ音楽大学に留学。ピアノを岡野哲也、平野邦夫、Ｊ・ホラーク、F.W.シュヌアー、室内楽をＨ・ピュイグ＝ロジェの各氏に師事。日本歌曲伴奏法を塚田佳男氏に薫陶を受ける。1992年第6回シューマン・ヤン・チャン国際ピアノコンクール、第19回フィナーレ・リグレ国際コンクールピアノ部門にてディプロマを取得。第8回ヴィオッティ・ヴァルセシア国際コンクールピアノ部門、及びロマン派作品部門第4位受賞（1位なし）。2007年、第18回奏楽堂日本歌曲コンクールにて優秀共演者賞受賞。現在京都教育大学音楽科准教授。

作曲：宇野 文夫　UNO Fumio

ピアノ・ソナタ第４番「耳と目で」
Piano Sonata No. 4 “With Your Ears and Eyes”
（平成 22(2010)年、平成 25(2013)年改訂）

（作品解説）
トリル風の細かい反復音形による導入部から、不協和音や、細かい上行音形による混沌とした錯乱部、そして中央に位置する長い同音連打へと続きます。短いフガート（フーガ導入風音楽）を経て、再び錯乱に突入、最後は不協和音連打の変奏により、曲を閉じます。
題名は、耳と目によって、すべてをよく感じることが重要であり、それによって最も重要な問題、切実な問題が、感じられよう、といった意味を込めたものです。
平成 22 年３月から４月にかけて作曲し、５月神戸市西区有瀬の神戸学院大学メモリアルホールにて「第２９５回神戸学院大学グリーンフェスティバル・中村和枝ピアノ・リサイタル」にて初演、同月に「関西現代音楽交流協会・第 39 回現代音楽作品の夕べ」にて中村和枝により再演されました。本年８月末より９月にかけて、若干の削除と追加、音の変更を行ない、今回が改訂初演となります。

＜作曲：宇野文夫（うの ふみお）＞
昭和 34(1959)年、西宮生まれ。神戸にて育つ。昭和 60(1985)年、武蔵野音楽大学大学院修了。主要作品に４つのピアノ・ソナタ、二重奏曲(fl, pn)、室内楽第１、第３〜6 番がある。平成 10(1998)年より月刊「音楽現代」誌に執筆。最新作は、平成 24(2012)年 12 月、当会にて大升良美によって演奏された「無伴奏フルートのための音楽」。神戸音楽家協会、関西現代音楽

交流協会、日本現代音楽協会、Vivava Opera Company (VOC)に所属。神戸学院大学人文学部准教授。武庫川女子大学講師。

＜ピアノ：中村 和枝（なかむら かずえ）＞
三重県伊勢市出身。武蔵野音楽大学卒業。ＪＭＬ入野義郎音楽研究所にて研鑽。平成元(1989)年、第３回日本現代音楽ピアノコンクール優勝。平成 5(1993)年、スペイン・シッチェス 20 世紀音楽コンクール優勝。東京にて３度のリサイタルを開催。バルセロナ、サマランカ、ソウルでもリサイタルを行う。２枚のソロ CD として、平成 13(2001)年には「to you from」を、平成 23(2011)年には「松平頼暁 24 のエッセーズ」をリリース。平成 9～13(1997～2001)年、「アンサンブル・ダーム」メンバー。平成 14(2002)年より、作曲家山本裕之との共同演奏会企画「クラヴィアーレア」を発足、活動している。尚美学園講師。

作曲：中澤 道子　NAKSZAWA Michiko
　Basso～コントラバスとピアノの為に～

（作品解説）
この作品は、2012 年秋にコントラバス奏者 三井脩平氏リサイタルの為に書いた作品です。以前からコントラバス作品を書きたいとの想い、三井氏とのお出逢いから楽器の特性など色々教えて頂き、楽しく書く事が出来ました。低音楽器のコントラバスの魅力は、その低音での深い響きの豊かさのみならず、鋭い敏捷性、高音域での憂いに満ちた音色など実に様々です。そんなコントラバスの魅力を表したく、楽しんでお聴き頂ければ幸いです。演奏に当りご尽力賜りました三井氏、園田氏には心より感謝申し上げます。

＜作曲：中澤 道子（なかざわ みちこ）＞
大阪音楽大学作曲科、同大学院作曲専攻修了。鈴木英明氏に師事。関西を中心に室内楽、　吹奏楽の作曲・編曲を行なう。日本作曲家協議会、日本女性作曲家連盟、関西現代音交流協会、加古川音楽家協会、21世紀創作歌曲の会「まほろば」各会員。現在、大阪音楽大学作曲科、同大学付属音楽院講師、京都教育大学教育学部 各講師。■主要作品：●オペラ：「オリベ焼き紋様」●オーケストラ：「曙」●ミュージカル：「雪の女王」「クリスマス・キャロル」●朗読と音楽：「フランダースの犬」「ごんぎつね」他。

＜コントラバス：三井脩平（みつい しゅうへい）＞
愛媛県出身。１５歳からコントラバスを始める。大阪音楽大学音楽学部器楽学科を卒業。大学卒業後はフリーランスの奏者として、室内楽やオーケストラ、ソロなど、バロックから現代音楽まで幅広く演奏活動を行っている。2012年10月、初のソロリサイタルを開催。同年12月、大阪チェンバーオーケストラと「J.B. ヴァンハルのコントラバス協奏曲ニ長調」を共

演。これまでに渡辺彰考、林俊武の両氏に師事。現在、大阪音楽大学演奏員。大阪チェンバーオーケストラ所属。コントラバスカルテット「BASS BAR」リー ダー。

＜ピアノ：園田 文子（そのだ ふみこ）＞
前掲

【関西現代音楽交流協会について】
関西現代音楽交流協会は現代音楽を志す人達の交流の環を広げ、その活動を活性化することにより音楽文化の普及と発展に寄与することを目的として 1986 年に設立されました。
主に関西を音楽活動の中心とした者が会員となっており、現在その数は作曲会員・演奏会員合わせて約 90 名です。これまで毎年春・秋に、作品発表と演奏活動の場である演奏会「現代音楽作品の夕べ」を、45 回主催してきました。
公式ホーム ページ　http://kmma.web.fc2.com/

【会員募集】
関西現代音楽交流協会では、現在作曲会員・演奏会員を募集しています。入会すると本会が主催する演奏会「現代音楽作品の夕べ」に出品・出展することができます。ご関心のある方は、本演奏会終了後のレセプションにて会員までお問い合わせください。